

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井化学株式会社 岩国大竹工場

(2) 事業所の所在地

山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号

(3) 業種

1631 石油化学系基礎製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	450,675	266,654 40.8	344,985 23.5	304,182 32.5			
非エネルギー 起源CO ₂	8,862	8,862 0.0	8,330 6.0	8,700 1.8			
メタン	326	326 0.0	87 73.3	59 81.9			
一酸化二窒素	164	164 0.0	527 (221.3)	569 (247.0)			
その他 温室効果ガス	25	25 0.0	1,182 (4628.0)	1,022 (3988.0)			
温室効果ガス 実排出量総計	460,052	276,031 40.0	355,111 22.8	314,532 31.6			
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する自己評価	令和6年度は省エネの継続に加え、事業再構築によるプラント停止によりCO2排出量が減少し、基準年度比31.6%のCO2排出量削減となった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 排出量総計							
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)							
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気・蒸気削減	令和5（2023）年度 GHG排出量：10,226t-CO2	・製造プロセス、用役設備、排水処理設備 運転最適化 ・漏洩蒸気削減 ・機器高効率更新
2	電気・蒸気削減	令和6（2024）年度 GHG排出量：4,020t-CO2	・製造プロセス、用役設備、排水処理設備 運転最適化 ・漏洩蒸気削減 ・機器高効率更新
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	事務所電気使用量削減		・冷暖房温度の適正管理 ・昼休憩時の消灯の徹底
2	廃棄物排出量削減	廃棄物埋立率 令和6(2024)年度 0.05% ＊目標0.15%以下	・3Rによる廃棄物削減 ・分別収集の徹底
3	その他		・工場周辺地域清掃活動の実施

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。